

不適合情報

2021年10月8日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	6号機	中央制御室外気取入ダンパー(A)の動作確認時、自動および手動においてもダンパー弁が全開にならないことを確認した。当該弁を全閉し電源を停止。当該弁を修理。なお、7号機側の外気取入モード運転により中央制御室内のCO2濃度に問題なし。 2022年2月18日再審議にてグレード変更 GⅢ→GⅡ (原子力規制庁による2021年度第3四半期原子力保安検査および規制検査の結果判定を受けての再審議による)	2021/10/04	GⅢ

3. GⅢグレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機消音器の修理において、腐食状況調査のため保温材を取り外したところ、屋外排気管フランジ部の配管に、腐食および貫通孔を確認した。当該配管を交換。なお、これまでの非常用ディーゼル発電機の運転で異常や排気ガスの漏れは確認されておらず、また、他の非常用ディーゼル発電機(2台)が待機状態であるため、保安規定に基づく機能要求に問題なし。	2021/10/05	

※2022年2月21日 再掲載